

## 特集展のご案内

ひとは何かをつくってしまうからひとである。

ひとはこれまでにどれだけのものを生み出してきたのだろうか？

一人で作ります「もの」

仲間と作ります「もの」

長い時間をかけて伝えながら作り続ける「もの」

その「もの」からその「ひと」を想像し、

その人たちの「こと」、その頃の「こと」を想像する。



## 明治150年 記念事業



山本芳翠《浦島図》  
1893-95年頃 油彩、画布 岐阜県美術館蔵

そのイメージは見る人でまちまち・・・。  
美術館の中で「ナンヤローネ」の言葉が  
あなたの中に生まれた時に  
美術館はあなたのものになる。

岐阜県美術館 日比野克彦



県民文化の森 **岐阜県美術館**  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU

展覧会名	「開館 35 周年記念 山本芳翠展」(展示室1-BC) 会期1月3日(水)～2月25日(日)
	「世紀末のパリ」(展示室1-A) 会期1月3日(水)～2月25日(日)
	「うるはしの工芸」(展示室1-D) 会期1月3日(水)～2月25日(日)
	「めでたし、金屏風」(展示室1-E) 会期1月3日(水)～2月25日(日)
開場時間／10時～18時(第3金曜日は20時まで)	
休館日／毎週月曜日	
料金	一般330円(270円)／大学生220円(160円) ※( )内は20名以上の団体料金
主催	岐阜県美術館
お問合せ	岐阜県美術館 TEL 058-271-1313

本資料に関するお問い合わせ

岐阜県美術館 広報担当：後藤  
〒500-8368 岐阜市宇佐4-1-22  
TEL 058-271-1313 FAX 058-271-1315  
<http://www.kenbi.pref.gifu.lg.jp>  
E-mail: goto-hiroyuki1@pref.gifu.lg.jp

# 開館 35 周年記念 山本芳翠展

## 明治 150 年記念事業



### 展覧会について

平成 30 年（2018 年）は、明治元年（1868 年）から起算して満 150 年に当たります。明治以降、近代国民国家への第一歩を踏み出した日本は、多岐にわたる近代化への取組を行い、国の基本的な形を築き上げていきました。また、多くの若者や女性等が海外に留学して知識を吸収し、外国人から学んだ知識を活かしつつ、単なる西洋の真似ではない、日本の良さや伝統を活かした技術や文化も生み出されました。一方で、昨今に目を向ければ、人口減少社会の到来や世界経済の不透明感の高まりなど激動の時代を迎え、近代化に向けた困難に直面していた明治期と重なっており、「明治 150 年」を節目として、改めて明治期を振り返り、将来につなげていくことは、意義のあることだと考えています。

こうした中、政府では、内閣官房副長官を議長とする「「明治 150 年」関連施策各府省連絡会議」を設け、政府一体となって「明治 150 年」関連施策を推進しているところです。

岐阜県美術館では、「明治 150 年」の記念事業といたしまして、岐阜県出身の近代日本洋画の先駆者山本芳翠（岐阜県恵那郡明智町出身）の画業の一端をご紹介します。「開館 35 周年記念 山本芳翠展」を開催いたします。「明治 150 年」を機に、明治期に活躍した山本芳翠の歩みをより多くの方に知っていただき、芳翠が残した遺産を未来へつないでいこうとするものです。明治期に生きた山本芳翠の精神を捉え、日本の技術や文化といった強みを再認識していただけるものと思います。

### 本展の見どころ

## 日本文化と西洋文化が互いに強く影響しあった転換期 日本洋画の先駆者である山本芳翠の世界を見つめる

- (1) 《裸婦》日本人の手による最初期の裸婦油彩画（重要文化財）
- (2) 《浦島図》洋画でありながら、日本の文化を感じさせる芳翠の代表作  
「洋画でもこれ丈のことは出来る、と心意気をみせた」（1932 年『東京日日新聞』岡田三郎助の談話より）
- (3) 明治期を振り返り、これからの日本を見つめる



山本芳翠《裸婦》1880 年頃（重要文化財）

芳翠の滞欧中の秀作であり代表作の一つである。滞欧中の 10 年間は第 4 回から第 8 回の印象派展が開かれた時でもあり、ルドンらによる象徴主義など新しい芸術運動が展開される近代フランス絵画の大転換期に相当し、この作品の表現の中にもその兆しが見出せる。



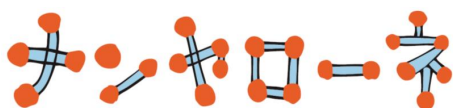
山本芳翠《浦島図》1893-95 年

長い滞欧生活を経た芳翠が第 7 回明治美術会に出品した大作。洋画排斥の国粹主義風潮の強い中、芳翠はあえて歴史画風の作品を出品して「洋画でもこれ丈のことは出来る、と心意気をみせた」のであろう。芳翠の作品における日本の主題の洋風表現の代表作の一つである。

# 〈山本芳翠 年譜〉

出典：「山本芳翠の世界展」朝日新聞社 1993

1850	7月5日、岐阜県恵那郡明智町字野志に生まれる。	1853	ペリー浦賀に来航
1865	北斎漫画を入手。この後京都に出て久保田雪江に南宗画を習う。絵画を研究するために、中国へ渡る決心をし横浜へ出る。	1854	日米和親条約締結
1868 (明治1)	生糸商上州屋に滞在、花鳥山水を内職で描く。	1867	パリ万博に由一の油絵出品。
1869	絵を五姓田芳柳に認められ、五姓田の塾に入門する。ワーグマンに会い、初めて洋画を知る。	1869	スエズ運河開通
1872	五姓田芳柳の家で高橋由一に会う。		
1875	各地を旅する。		
1876	山縣有朋の北海道視察に随行。工部美術学校開設。入学しフォンタネージから本格的に油彩画を学ぶ。	1878	フェノロサ来日、東京大学文学部教授となる。
1878	2月11日、パリ万国事務局雇で渡仏。パリ万国博覧会に関する仕事をする。パリのサン・トノレーにアトリエを得る。		
1880	この頃「裸婦」完成か。ルーブルなど美術館を見学。		
1882	この頃、美術学校をやめて、パリ、フォブル・サン・トノレー28に移る。「西洋婦人像」の制作。	1882	イギリス建築家コンドル設計の上野博物館開館。
1885	2月、「園田銚像」制作。5月、パリのジョルジョ・プティ画廊で個展開催。	1883	工部美術学校廃校。コンドル設計「鹿鳴館」完成。
1887	フランス発、帰国へ。7月12日、帰国。伊藤栄（子）と結婚。10月、伊藤博文に随行し、琉球で20図制作。		
1888	5月、合田清と画塾正巧館を設立。5月25日、挿絵を担当した「高等小学読本」第1巻出版。8月1日、東京朝日新聞付録「盤梯山噴火真図」発行。のちに同図の油彩画を宮内庁に献納。		
1889	2月、「憲法発布式の図」を油彩画で描き、毎日新聞社前に掲示する。		
1892	3月～5月、第4回明治美術会に「十二支」「自画像」等出品。5月11日、「十二支」宮中にて両陛下天覧する。		
1893	「浦島図」「猛虎一声山月高」の制作を始める。		
1894	8月、東京市芝区三田四国町に移る。9月、日清戦争に従軍。10月28日、満州、花園口に上陸する。	1894	日清戦争始まる。
1895	2月9日、帰国へ向かう。8月15日、父権八、死亡。生家の明智に帰る。多くの水墨画を描く。東京市芝区白金志田に住む。10月～11月、第7回明治美術会に「浦島図」「猛虎一声山月高」「官女」を出品。	1896	東京美術学校に西洋画科が設置され、黒田が教授に就く。
1902	9月、第7回白馬会に「伊藤博文の肖像」を出品。		
1904	8月～11月、日露戦争に従軍。遼陽の戦跡を十二図の水彩にして献納。	1904	日露戦争勃発。
1906	11月15日、自宅で脳内出血のため死去。		



特集展 35<sup>th</sup>

県民文化の森 岐阜県美術館  
THE MUSEUM OF FINE ARTS, GIFU



## 広報画像貸出申込書

FAX 送信番号 : 058-271-1315

貴社名		ご担当者名	
媒体名	(掲載コーナー、特集名 : )		
ご住所	〒		
ご連絡先	TEL :	FAX :	
	E-mail :		

### 1. ご紹介いただける場合、貴媒体の情報をお知らせください。

掲載/放送	月	日	発売・放送 ( 月号 ) / 発行部数	部
掲載内容				

### 2. 広報画像はご使用になりますか。

はい 画像データ到着希望日 ( 月 日 )       いいえ (写真は使用せず、文字掲載のみ)

### 3. 別紙の写真をご参照の上、ご希望の【画像番号】にチェック☑してください。

下記キャプションの作品名称、所蔵を必ずご記載ください。

<input checked="" type="checkbox"/>	番号	ご掲載時のキャプション表記
<input type="checkbox"/>	①	山本芳翠《浦島図》1893-95年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	②	山本芳翠《裸婦》1880年頃 (重要文化財) 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	③	山本芳翠《福地源一郎の肖像》1877年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	④	山本芳翠《若い娘の肖像》1880年頃 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑤	山本芳翠《伊藤博文公肖像》1903年 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑥	山本芳翠《象先和尚肖像》1894年以降 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑦	山本芳翠《蜻蛉集》(競馬を見る男女) 1884年 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑧	山本芳翠《海浜風景》不詳 岐阜県美術館蔵
<input type="checkbox"/>	⑨	山本芳翠《ヴェルサイユにて》1880年頃 岐阜県美術館蔵

### 4. 読者プレゼント用招待券【5組10名】をご希望になりますか。

希望する

※読者プレゼント用招待券(5組10名)の提供は、作品画像1点以上をご掲載の上、本展をご紹介していただける場合に限らせて頂きます。

## ■ 広報画像一覧

①



②



③



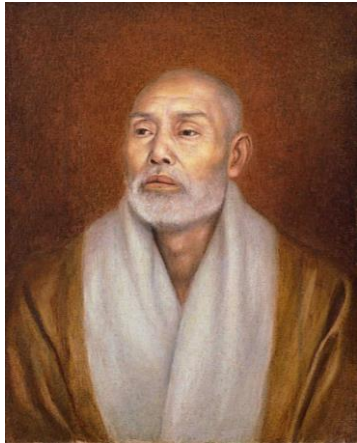
④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



## 【広報画像使用に関する注意事項】

- 本展広報目的での使用に限ります。
- 展覧会名、会期、会場名は、必ず掲載してください。
- 作品画像は全図で使用してください。トリミングや文字を重ねるなどの画像の加工・改変はできません。
- 転載などの二次使用をされる場合には、別途申請いただきますようお願いいたします。
- Webサイトに掲載する場合は必ずコピーガードをしてください。
- 掲載・放送後は必ず、掲載誌・同録テープ・DVD等を、岐阜県美術館へ1部お送り願います。
- 会期中の会場取材・撮影をご希望の場合は岐阜県美術館までご連絡ください。